多世代交流施設プロジェクト

基本目標２　ひとや企業とのつながりを築く

■事業の課題・目的

志布志市では、少子化と人口減少が進む中、子育て世帯のニーズに応える新たな取り組みを進めています。令和８年７月にオープンした多世代交流施設「こころば」は、子育て世代が望んでいた「室内の遊び場」として、また、子育て世代を中心に多世代が集い、働く人々や地域住民、観光客などが自然に交流できる場としての機能も持っています。

皆さまからのご支援をいただきながら無事オープンすることができ、これから更なる多世代の交流を生み出すために、サービスの質向上や賑わいを創出する整備を進めます。

■事業内容



令和７年度に建物（４階建て）の改修を行い、各フロア整備を行いました。

指定管理制度での運営をスタートさせましたが、今後も利用者のニーズに応じた整備やサービス内容の向上のための整備を行います。

・駐車場用地購入、駐車場拡張など
・施設運営の指定管理料

■なぜ寄附を募るのか






この多世代交流施設「こころば」は、急速な少子化が予想される中、子どもを中心にしたまちづくりの必要性を感じ、整備を行いました。

オープン以降、市内外からの利用者があり、まちなかの新たなにぎわいが創出されてきています。

私たちが目指す多世代交流施設は、建物を整備して終わりではなく、オープン後の運営（指定管理）までを一体のプロジェクトとして捉えています。

指定管理者と共に中長期的な視点で、より良いサービスや安全対策の強化、施設の利便性向上を目指し、常にアップデートし続ける施設であるために、ご寄附によるこのプロジェクトへの支援が必要です。

■メッセージ

『こころが集まるひろば』として「こころば」の愛称で呼ばれているこの施設は、世代を超えた交流と安心できる居場所を提供していきたいという思いでプロジェクトに取り組んでいます。

オープンに至るまで、たくさんの企業の皆様からご寄附という支援をいただき、官民連携が実現されたものとなりました。この施設の賑わいが少しずつ波及効果として広がっており、多世代が自然に集う地域の核として一歩を踏み出しました。この先、皆さまと志布志の未来を共に創り、共に歩んでいきたいと強く思っています。